

天童中部まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

天童中部地域

令和元年5月31日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>① 天童中部小学校の児童数は減少していますが、学童保育所の児童数は入所する割合が高くなっているため増加しています。今年の1年生の学童入所率は、55%を超え、今後増加傾向にあります。</p> <p>今年度の学童入所児童数は、天童中央学童保育所が62人、第二学童保育所が34人、第三学童保育所が58人、第四学童保育所が53人という状況です。市の放課後児童健全育成事業の基準を定める条例では、1施設当たりの入所児童数はおおむね40人以下と規定していますが、3つの施設でその基準を超えています。</p> <p>学童にいる子どもたちを見ていると、少し窮屈なようですので、保護者としては、子どもたちが安全に過ごせるように、第五学童保育所の新設を要望します。借家でもいいですのでお願いします。</p>	<p>子育て支援課</p>	<p>現在、天童中部地域にある4つの学童保育所については、全ての施設で児童一人当たりの基準面積を満たしていますが、1支援単位当たりの児童数については、4施設のうち3施設が基準となる40人を上回っている状況です。</p> <p>新たな施設の増設については、今年度策定を予定している「第2期子ども・子育て支援事業計画」の策定過程において、中期的なニーズを見極めるとともに、受け皿となる施設の確保策について、様々な視点から検討を行います。</p>
<p>② 市立天童中部公民館は、建設されてから40年を経過し、設備を修繕または交換しながら使用しています。しかし、現在困っていることが3点ありますので、御対応をよろしくお願いします。</p> <p>まず1点は、集会室のマイクとスピーカーの音割れで、音が出なくなることです。2点目は、暖房機の効きがよくないこと。3点目は、調理室の洗い場のお湯の出が悪いことです。</p> <p>不具合のある設備については、現状を確認していただき、問題が</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>市立公民館の利用者の皆様には、御不便をお掛けしまして、申し訳ございません。御指摘の不具合3点について調べてみたところ、集会室のスピーカーは、平成17年度に設置したもので、今後は使い方を工夫して改善していきたいと思います。また、集会室の暖房については、平成21年度に、約1,000万円の費用をかけ整備したもので、暖房機器の電源を同時に入れると一斉に霜取りを行うため、時間をおいて電源を入れてもらうように貼紙等で</p>

天童中部まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

天童中部地域

令和元年5月31日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>ある場合は修繕や更新していただきたいと思います。</p>		<p>利用方法の周知を行っていきます。給湯器については、給湯能力に限界があり、大勢でお湯を使うときは、互いに交代しながらお湯を出して使用していただいております。改善策について検討します。</p> <p>なお、市立公民館の修繕については、危険があるものを優先的に行っていきます。今年度、市立天童中部公民館については、外壁崩落の危険があるため、外壁の修繕を予定していますので、工事中は御迷惑をお掛けしますが、御理解をお願いします。市立公民館は、社会教育や地域づくり活動の拠点施設であり、安全で安心して利用できるよう、今後とも、修繕や更新を計画的に実施してまいります。</p>
<p>③ 市内の老人クラブは会員数や団体数が減っていますが、いきいきサロンの利用は増えています。老人クラブは、市からの要請や会費も払っていることなど、市政の運営に関わっている団体です。</p> <p>また、高齢者が高齢者を支えるのが大変であることもあり、老人クラブに入れる年齢なのに入らない人が多く、ますます老人クラブの高齢化が進んでいます。市は、今後の老人クラブのあり方をどのように考えているのでしょうか。</p>	<p>社会福祉課 保険給付課 生涯学習課</p>	<p>老人クラブ並びに老人クラブ連合会は、市が様々な施策や計画を策定する時に、懇談会や委員会などを組織して、高齢者代表として広い意見を伺う、なくてはならない重要な存在となっています。しかし、高齢化率が上がり、加入対象となる高齢者は増えている中、老人クラブ加入者は徐々に減少しており、市としても危惧しているところです。</p> <p>高齢者同士の仲間づくりや、社会貢献を通じた生きがいづくりを目的とする老人クラブは、高齢者の居場所づくりや、介護予防を目的とするいきいきサロンなどとは意義が異なるものと考えています。</p>

天童中部まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

天童中部地域

令和元年5月31日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
		<p>地域においては、世代ごとの社会教育団体の一面もありますが、60代・70代の会員数が減少している中で、老人クラブの負担が増えている現状では、事業の縮小なども含め、今後の事業についての検討が必要と思われます。</p> <p>市としては、老人クラブの活動のための補助金交付なども行っていますが、交付申請手続も老人クラブの大きな負担となっているとお聞きし、手続きの簡素化を進めているところです。また、老人クラブ連合会とも協力し、会員の新規加入や単位組織の加入拡大に向けた活動を行っていきたいと考えています。</p>
<p>④ 市老人クラブ連合会の活気があった時期は、70以上の単位クラブが加盟し、会員数は5000人でした。現在は、単位クラブが23で、会員数は1000人を割りました。</p> <p>減少の原因は、70代前半の方の入会が少ないことです。また、老人クラブが存在しない区域もあり、今後、その実態を調査する予定です。調査がまとまり次第、市にも報告し、御協力を仰ぎたいと思います。よろしくお願いします。</p>	<p>社会福祉課</p>	<p>調査結果の御報告をお待ちします。その調査結果に基づき、老人クラブの今後の対応について、一緒に検討していきたいと考えています。</p>
<p>⑤ 婦人会についても存続が危ぶまれています。市内には市立公民館が13ありますが、このうち市連合婦人会に加盟しているのは8団体のみになります。会員数が少なくなる理由は分かりませんが、</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>地域において社会教育活動や福祉活動を実践している婦人会などの団体が、会員数の減少や会員の高齢化などの理由により、活動が困難となっていることは、各地域共通の課題となっています。</p>

天童中部まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

天童中部地域

令和元年5月31日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>上に立つ人がいないということも、原因の一つではないでしょうか。会員数が少なくなったり、組織がなくなったりする理由については、市にも調べていただきたいと思います。</p>		<p>その対策としては、まず、各団体や連合会の本来の設立目的に立ち返り、会員にとって魅力のある活動を展開していくことや新たな会員の加入が大切であります。そのためには、既存の事業の踏襲でなく、会員の興味や関心を踏まえ、かつ、時代のニーズにあった事業の実施や活動内容の見直し、負担の軽減を図ることが必要であると考えます。</p> <p>そして、負担の軽減や交流の面からも、団体が単独で活動するだけでなく、他団体と連携して活動していくことも必要であると考えます。</p> <p>市は、それぞれの地域の実情に応じて、団体の支援や地域活動のコーディネートを、地域活動の拠点である市立公民館をとおして行っていきたいと考えています。また、市の連合組織に対しては、補助金の交付や事務事業に対する支援、明治大学連携講座の開催などの事業を実施しながら、今後とも支援に努めるとともに、運営等の状況を把握してまいります。</p>
<p>⑥ 公民館も含めた行政のペーパーレス化の件です。今の時代は、ICTを活用した会議などが民間で進んでいます。学校でもICTの流れとなっています。先日、市立天童中部公民館で、ペーパーレスを実践するために、パワーポイントを利用した会議を行いました。</p>	<p>総務課 議会事務局 生涯学習課</p>	<p>今年度、市議会にタブレット端末を導入してICT議会を推進し、情報伝達のスピード化とペーパーレス化を図ってまいります。本年12月議会からの仮運用を予定し、より効果的な運用が図れるよう、現在、市役所各課等との調整を行っているところです。</p> <p>市全体のペーパーレス化につ</p>

天童中部まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

天童中部地域

令和元年5月31日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>また、会議の案内についても、紙による通知でなくて、メール等で案内しようと考えています。公民館を含めた市は、今後ペーパーレス化をどのように進めていくのでしょうか。</p> <p>なお、公民館でペーパーレスを進めるには、プロジェクターなどの機材も必要となりますので、御配慮願います。</p>		<p>いては、庁内のコンピュータネットワークを活用した電子決裁システムの導入や資料の電子化などを進めています。</p> <p>また、庁内外の資料のやりとりについても、電子メールを用い、PDFファイルなどにより行うことを推進しているところです。今後も検討を重ねながらペーパーレス化に努めてまいります。</p> <p>なお、プロジェクターについては、荒谷公民館を除く全ての市立公民館に設置しており、パワーポイントなどを利用した会議などが可能となっています。</p>
<p>⑦ 市報5月15日号に、8年を経過した水道メーターを交換しますという記事がありました。機器更新の際は、水道スマートメーターに交換すると無線による検針ができ、業務の効率が良くなると思います。</p>	<p>上下水道課</p>	<p>スマートメーターは、通信機能を付加した計測により、人件費等の経費軽減が見込まれるため、電力やガスなどは、スマートメーターに切り替わる傾向にあります。</p> <p>県内では、水道スマートメーターを導入している自治体はありませんが、全国的には山間地域や離島において導入されている事例があります。また、東京都や横浜市では、水道スマートメーターの実証実験が行われています。</p> <p>スマートメーターの導入には、通信方式や情報セキュリティの問題、投資費用など、解決しなければならない多くの課題があります。導入事例などの情報を収集し、今後、水道スマートメーターの導入について検討を重ねていく必要があると考えていますので、御理解をお願いします。</p>

天童中部まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

天童中部地域

令和元年5月31日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>⑧ 2011年の東日本大震災発生後、町内会では、側溝の汚泥清掃を実施していません。これから雨が多くなり、水が溜まると蚊などが発生する心配もあります。</p> <p>天童中部地域では、放射線量の測定を1か所で実施しているようですが、広い地域ですので、2か所で測定していただき、放射線量が基準値を下回ったかどうか調査してもらえないでしょうか。</p> <p>住民は側溝の掃除をしたいと言っていますので、よろしく願いいたします。</p>	<p>建設課</p>	<p>市は、近隣にある汚泥の最終処分場が受け入れ可能な1,000ベクレル未満まで測定値が低下した地域から、順次、地域の側溝清掃の再開をお願いしています。</p> <p>側溝清掃を中止してから8年が経過し、側溝内に多くの汚泥が堆積していることから、東日本大震災以前に、地域で側溝清掃を行っていた箇所については、市が側溝清掃を行った後に、地域の皆様から側溝清掃を再開していただけるよう計画しています。</p> <p>なお、天童中部地域につきましては、市が側溝清掃を行う令和3年度以降に、地域の皆様から側溝清掃を再開していただく予定です。</p> <p>また、現在、側溝の汚泥堆積により、水が流れないなどの支障が出ている箇所につきましては、市が現状を確認し対応しますので、建設課へ御連絡ください。</p> <p>また、側溝汚泥の放射性物質については、同一箇所で継続的に測定を重ね、その変化を調査していますので、現在のところ、新たに測定箇所を設ける予定はございません。</p>
<p>⑨ 今年4月18日の新聞に、酒田市職員の防災意識が低いという行政監査の報告が掲載されました。天童市職員の防災意識はどの程度なのでしょう。</p>	<p>危機管理室</p>	<p>市職員の防災意識については、研修や日頃からの周知徹底により、迅速な行動に結び付くよう取り組んでいます。また、毎年、災害に備えた図上訓練等を実施し、行動の仕方や情報伝達等について学習しています。大雨や台風の</p>

天童中部まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

天童中部地域

令和元年5月31日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
		<p>接近等により災害の危険が予想される時には、速やかに市対策会議を開催し、各職場での対応について確認し、全職員への注意喚起を行っています。</p> <p>今後もこれらの取組をさらに進め、防災意識の高揚と災害時の迅速な対応を図ってまいります。</p>
<p>⑩ 市が指定している避難所に、表札を付けていただけないでしょうか。一般人が避難所にある表札を見れば、一目瞭然だと思います。</p> <p>また、市立公民館も避難所になっていますが、公民館にヘルメットはありません。訓練ではベストなども使用しますので、ぜひ、そういうものもそろえていただきたいと思います。</p> <p>10月には、市総合防災訓練が天童中部地域で開催されますので、素晴らしい訓練になりますようよろしくお願いいたします。</p>	<p>危機管理室</p>	<p>市では一時避難場所となる公園や小・中学校等の敷地内に避難場所であることの表示板の設置を進めており、天童中部地域は天童中部小学校や各公園に設置しています。</p> <p>表示板には一時避難場所から避難所への移動が速やかに行えるよう、避難所の所在地を地図で表示しています。災害時に市避難所を開設した時には、入口に看板を設置しますので御理解をお願いします。</p> <p>天童中部公民館の職員用のヘルメットについては、公民館内に備えてあることを確認しました。災害時に地域で必要となるピブス等の資機材については、市で自主防災会組織への資機材購入の補助をしていますので、危機管理室に御相談ください。</p>
<p>⑪ 市自主防災会連絡協議会総会で、昨年8月に起こった庄内最上地域の集中豪雨被害の話がありました。</p> <p>豪雨災害の場合は、若干の余裕がありますが、地震等の場合は、一気に災害が発生するので、収容</p>	<p>危機管理室</p>	<p>市指定避難所については、市避難所運営マニュアルに基づき、避難者の状況等に応じて、市職員や施設管理者、地区自主防災会、避難者の代表等が協議して運営を行います。</p> <p>地域での避難所運営マニユア</p>

天童中部まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

天童中部地域

令和元年5月31日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>避難所の運営が重要になります。天童中部地域は、四中が収容避難所になりますが、多くの町内会から集まりますので、その収容避難所の運営マニュアルがないと、自主防災会も動けません。収容避難所については、市からの運営指導や支援があってもいいと思います。</p>		<p>ルは、迅速な避難所運営に有効であり、天童中部地域では、昨年度に天童中部公民館の避難所運営マニュアルを作成していただき感謝申し上げます。他の地域でも地区自主防災会等を中心として、避難所の運営計画等の取組みが行われています。四中の避難所運営マニュアル作成を検討される際には、支援を行ってまいりますので危機管理室に御相談ください。</p>
<p>⑫ 昨年のまちづくり懇談会で、空き家問題についてお聞きしました。市からの回答は、先進事例を調査研究していきたいということでしたが、その進捗をお願いします。</p>	<p>建設課</p>	<p>市内には、現在約600件の空き家があり、使用できるものは売買、賃貸等の活用を促し、使用できないものは除却を勧め、空き家の増加を抑制するための啓発を行うことで空き家対策の取組みを進めています。</p> <p>利活用の取組みとして、空き家バンクにおいて、これまで37件の空き家が登録され、そのうちの19件が成約しています。空き家の除却につきましては、平成30年度から天童市空き家除却事業を開始し、空き家の除却を促進しています。また、空き家を増やさないために、山形県宅地建物取引業協会天童と合同で空き家相談会を年3回開催しており、売買や相続・登記、除却や空き家バンク登録等の多様な相談に対応しています。</p> <p>本市においては、上山市での事例を参考に、昨年から空き家再生事業の実施に向けた協議や利活</p>

天童中部まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

天童中部地域

令和元年5月31日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
		<p>用可能な空き家の調査を行っているところです。</p> <p>その他、本市は、空き家や中古住宅の需要が高いため、民間の不動産業者等の協力を得た取組みを進めることも含めて、空き家対策の協議を重ねています。</p>
<p>⑬ 地域いきいき講座のメニューに「避難所運営ゲーム」があります。学校を避難所に設定する場合は、教室も居住区として訓練しますが、市では体育館のみを居住区域としています。今後、教室を居住区にすることを検討されるのでしょうか。</p> <p>様々な避難者やケースが考えられますので、最初から教室も居住区域とする案を作成してはどうでしょうか。</p>	<p>危機管理室</p>	<p>避難所となる学校につきましては、基本的に体育館を居住区域とすることにしています。しかし、避難される方には、高齢者や乳児等の要配慮者の方も想定されますので、避難された方の状況に応じて、教室の利用についても柔軟に対応していく計画としています。教室につきましては、学校生活と避難生活を調整しながら、利用することになりますので御理解と御協力をお願いします。</p>
<p>⑭ 子どもたちが育っていく中で、人数が多いのと少ないのでは後々に影響します。天童中部小学校の体育館の脇にある天童中央第二学童保育所は、それほど人数が入れないと思います。指導員の部屋もありませんし、水道もちゃんとしたところがありません。学童保育所としてはふさわしくない施設だと思っています。</p> <p>立派な施設でなくても、数年間の借家でもいいので、定数にあった施設をお願いしたいと思います。近くの市農業センターを数年お借りできないものか、確認させていただきたいと思います。</p>	<p>子育て支援課</p>	<p>以前、市農業センターの一部を学童保育所として利用する案も検討しましたが、施設の利用状況から断念した経過があります。</p> <p>天童中央第二学童保育所につきましては、今年度策定を予定している「第2期子ども・子育て支援事業計画」の策定過程において、中期的なニーズを見極めるとともに、受け皿となる施設の確保策について、様々な角度から検討を行います。</p>